

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 水 康德 編集責任者：桶村清子 34期広報委員会 印刷所：東京印刷株式会社

5月例会開催

トライアスロンへの関わり、過去そして未来

平成21年5月18日、ふれあいの里において5月例会が開催された。

綱領唱和に続いて水会長から「34期もあとなわずか。流行している新型インフルエンザが仕事の面に影響かもしれないことを踏まえて各自日々の仕事に取り組んでいただきたい。本日の例会は、当会の皆生トライアスロンへの関わり方について考えるいい機会。OBの方々のお話を聞いて更にトライアスロンに対する参加意識を高めていただきたい。」と挨拶があった。

青年中央会 5月例会



続いて臨時総会が開催され、議長に選任された山根副会長の進行のもと、次年度理事・監事・県出向候補が満場一致で承認された。



トライアスロンタイムでは、中田実行委員長が「第29回トライアスロンは、水会長のもと『オール中央会』で頑張った貢献したい。時間が無い会員も事前の準備や片づけなど、少しでも時間を作って関わっていただきたい。」と参加を呼びかけられた。続いて、茅野康洋マラソン部長より「人の繋がりを大切に、やるべきことはやっていきたい。」、土岐哲己ボランティア部長より「皆さんの力が無いとボランティアは成り立たない。1人でも多くの方に参加してもらえよう大会にしたい。」と挨拶があった。また、「はじまりがあるから終わりがあり、つらさがあるからこそ喜びがより大きく感じられる。当日は会員諸氏の絶大なご協力をお願いしたい。」後藤公平AS部長の抱負も伝えられた。

そして、「トライアスロンへの関わり、過去そして未来」をテーマに、5名のOB会員をパネリストにお招きして、約80分間にわたりパネルディスカッションが行われた。

土岐副会長より、「当会は第7回大会から同大会に携わり、本年も『オール中央会』で参加する。今後も当会が同大会に関わっていくにあたり、これまで積極的に同大会に関わってこられた先輩方から、当会が同大会に携わるようになったきっかけ、今日までの歴史を振り返っていただきつつ、今後の方向性を確認する例会としたい。」と趣旨説明がされた後、パネリストの木山三郎氏(第13期卒会)、中村昌哲氏(第14期卒会)、宇佐見明氏(第19期卒会)、夏野慎介氏(第28期卒会)、野嶋功氏(第29期卒会)が入場され、パネルディスカッションが始まった。

まず、コーディネーターを務める畠山広幸会員より、トライアスロンが日本で初めて1981年に皆生で開催されることとなった経緯について簡単な説明があった。そして、パネリストの方々から「ロングの大会は国内に4つしかなく、皆生の中でも唯一本土で開催されている貴重な大会。『皆生大会に一度は出てみたい』という声も多く『皆生大会を知らずしてトライアスロンを語るなかれ』という面もあるなど注目されている大会。また、自動車が選手の横を走っているなど市民の日常生活に深く入り込み地に根が生えている。」と皆生大会の特徴について話があり、皆生トライアスロンに当会に関わるようになったきっかけについては、「第6回大会で中央会から出場した選手を熱心に応援したところ、皆生協会本部から『是非中央会のパワーをトライアスロンに貸していただきたい。』と口説



かれ、中央会に持ち帰って役員会で時間をかけて話し合い、鳥取県西部に大きな経済効果をもたらすであろうトライアスロンに関わることとなった。」との話があった。

また、「5年程前に調査したところ、1日で約1億2000万の経済波及効果を生んでいることが分かった。周りの人の多くの感動を与えることのできる素晴らしい大会でもある。」と皆生トライアスロンの意義についても語られた。

さらに、経済団体である当会と皆生トライアスロンとの関わりについて、「企業の社会的責任の観点からすれば、経済団体がボランティア活動をするのはある意味当然。『経済波及効果の大きい、鳥取西部のイベントを支えて育てていくという意味がある。』などの意見があった。

第7回大会から長い間関わってきたトライアスロンについて、パネリストの方々には笑い話も交えつつ非常に熱心に議論を交わしていただき、これまでOBの方々が大変な苦勞をされながらも楽しんで皆生トライアスロンを支えてこられた情景が目に見え、現役会員も時間が経つのを忘れて聞き入っていた。私のような入会して間もない会員だけでなく、ベテランの会員にとっても勉強になる議論であったように思う。

今後、当会が皆生トライアスロンに関わっていくにあたり、その在り方について深く考えるとともに、目前に控えた第29回大会に「オール中央会」で臨む決意を新たにしたい。

(記事：野口)



次年度新理事・県出向役員決定!



永田健司 会員 岩田 剛 会員 山本竜男 会員 須山裕文 会員 長田賢一 会員 小川敦弘 会員

監 事



山本 徹 会員

県会長



山根宏典 会員

県出向理事



中村臣成 会員



久保田 賢 会員

会計担当理事



松江智雄 会員



北口智明 会員



森脇哲雄 会員

県出向監事



土岐哲己 会員



茅野真一 会員



松田幸紀 会員

O B 訪 問



山中隆司 O B

(31期ご卒会)

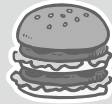
平成2年30歳での藤居OB(大山電器社長)角田OB(双見商会长)のご紹介で入会させていただきました。入会にあたっての面接で、緊張する中、「学校法人で仕事をする私にとって、人間の幅を広げる意味で企業経営に携わる先輩諸兄から様々な事を学ばせていただきたいと思います。」と申し上げたのをうっすらと覚えています。今を思えば、自分を見つめ直しこれからの自分をどの様に構築するかについて本当に色々なことを学ばせていただきました。

ただ、30代後半で住居が広島県三原市に移り会の中央会での活動が冬眠状態に入り、自らの進むべき道を決めかねるままに卒会を迎えたことは皆さんにとってもご迷惑をかけたことと思っています。

在籍期間中は、政治・行政政策、経済問題、教育問題、司法問題、交流親睦、自己研鑽研等多方面で学ぶ機会を得ることができとても有意義な時間を過ごすことが出来たと思います。そこで、何事にも積極的に、友愛の和を大切にする姿勢を学ばせていただいたことを感謝しています。

30代から40代にかけてまだまだ元気いっぱいだと思いがあって、つつい栄養過多になり、気がつけば、それほど暑くない日でも園児と遊びながら一人だけ肉汁を流している今日この頃です。

爽やかな体操のお兄さんとまではいかないまでも、蓄積した脂身を削ぎ落とさなくては、走る姿すら滑稽に見えて仕方ないだろうと思っています。皆さんも健康管理には充分ご留意下さい。



まぐろバーガー

'09食博覧会へ出店

当会のまぐろバーガーを松原会員を中心に水会長、中田直前会長および会員有志が参加して、大阪南港インテックス大阪で開催された「'09食博覧会」へ5月3日から5月6日の4日間出店致しました。

この食博覧会は、日本各地はもとより、世界各国の食を集めた日本最大の食の祭典であり、出店期間の4日間に来客数が30万人をこえる盛況ぶりでした。

このたび大阪初上陸となる、まぐろバーガーを出店した鳥取県ブースは、食博会場の中でも、注目度の高い、ご当地グルメが集まる食博恒例の人気企画である「ふるさと街道」内に設置されており、他県の名産品と競い合う激戦地での出店でしたが、当会のみならず鳥取県ブース全体が一丸となり、この一大イベントで鳥取県を広くPRすべく、声をからして大奮闘し、多くの方々にまぐろバーガーをはじめとする鳥取の産品を知って頂くことのできた大盛況の4日間でありました。(記事:総務委員会 松本冬竹)



委員会訪問

Neoラ・ヴィ委員会の巻

車尾の茶豆

日時:平成21年5月10日 AM9:00
場所:米子市上福原

車尾と言えば『エダマメ』。知っている人は少なくなったかもしれませんが。(観音寺はエダマメの産地でした。)夏の米子のエダマメは、ほとんど車尾産と言ってよいでしょう。

参加していただいた老人会の加藤さんは、『昔は競争してたくさん栽培していた。市場や農協にたくさん出荷していたものだわい。』と懐かしげに語っておられました。



そのエダマメ(茶豆種)を車尾の子どもたちが栽培することになったということは、何か運命を感じずにはられないのです。そして、5月10日(日)AM9:00集合で約60名が参加しました。水会長の挨拶を皮切りに『車尾の茶豆』がスタートしました。車尾小学校6年生30人、先生、老人会10人、Neoラ・ヴィ委員会メンバー

そのエダマメ(茶豆種)を車尾の子どもたちが栽培することになったということは、何か運命を感じずにはられないのです。そして、5月10日(日)AM9:00集合で約60名が参加しました。水会長の挨拶を皮切りに『車尾の茶豆』がスタートしました。車尾小学校6年生30人、先生、老人会10人、Neoラ・ヴィ委員会メンバー

が出席しました。まず、畝作りをしました。畝は子どもたちが老人会の皆さんの指導で、スコップ、クワを使って作りました。暑いので吸水タイムをとって、次は種まきです。種は茶豆の『夏の調べ』という品種と『湯上り娘』という普通のエダマメです。播種後70日で収穫できます。7月25日にはおいしいエダマメができる予定です。種と一緒にアドマイヤーという虫除けの葉を散布して、土をかぶせ水をやってハイ出来上がり。約1時間半程度の作業でした。子どもたちは熱心に作業をして、虫を発見したり、ミミズが出てきたりと楽しそうです。老人会の皆さんも日頃の農作業の腕の見せ所と、予定の畝数よりも多く畝が出来てしまうくらいでした。“高齢者と子どもたちのために”がテーマの委員会ですので、実践が出来たことはとてもよかったと思います。今後この活動が他の地域でも開催されるようになると思います。清々しい風の中でとても楽しい一日になりました。(記事:Neoラ・ヴィ委員会 永田副委員長)



これが私の 変革 revolutionize

脳は夜よりも朝のほうが活発に働き、アドレナリンも多く分泌されるため朝の1時間は夜の3時間にも匹敵するとも言われている。確かに私自身、学生時代の試験勉強はもっぱら朝早く起きてやったほうで、夜よりも朝のほうが効果的だった覚えがある。近年、朝型生活が注目され、仕事に出掛けるまでの朝の時間を趣味や自己啓発の時間に充てるため、夜型生活から朝型生活へ変える人が増えているらしい。

5年前前から私も朝型に変えてみた。変えてみたというよりも、変わったと言ったほうが適切か。というのも、年を取ったせいか自分の意思に関係なく朝早く目が覚めるようになった。朝5時には目が覚める。出社までの3時間、何もしないのも勿体ないので始めたのが私の朝型生活である。私の朝はこんな感じである。まず、目が覚めるとすぐに布団から出ず、その日のスケジュールを思い起こしながら何をどのように進めていくか頭の中でイメージすることから始める。時間にして10分。それから布団を出てストレッチをした後、1時間のジョギング(雨の日は読書)。その後シャワーを浴び、新聞を読み、インターネットで気になるニュースをチェックした後、テレビの情報番組を観ながら朝食を摂り、8時過ぎに家を出る。それまで朝7時半に起きて朝食も摂らずに家を出ていたことから考えると朝の過ごし方は一変した。朝型生活にしてどう変わったか。まず何とんでも体調が良い。朝ジョギングをして朝食をきちんと摂るようになったことで、体調がすこぶる良い。また、情報収集の時間が増えたことで政治・経済から芸能までタイムリーな話題に事欠かなくなった。

古来、人間は日が昇ると起き、日が暮れると眠りについてきた。そのことからすると朝型生活こそが人間本来の自然な生活リズムなのだろう。仕事上、朝型とはいかない方もあるでしょうが、興味のある方は一度試してみてもいいかもしれません。(記事:横山)

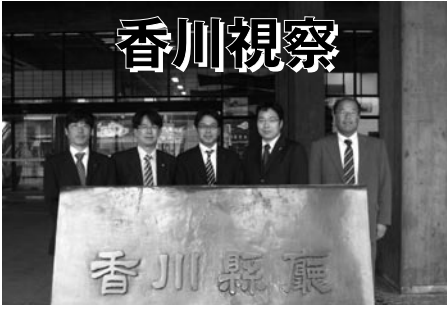
一人一人が 米子の語り部(マニア)



5月20日(水)米子市役所5Fの会議室に於いて、米子市民自治基本条例検討委員会主催のワークショップ「あなたの意見で未来をつくろう会」が開催されました。今回のワークショップは、我が広報委員会が対象になっており、委員長以下4名のメンバーでこれからの米子に必要な事、また自分自身に何が出来るのかについて白熱した意見交換が行われました。中央会を対象にしたワークショップは以前に一度開催されていましたが、今回は以前にも増して参加メンバーから積極的な意見が出されてきました。どの意見もこれからの米子を考える上で欠かせないものばかりで、皆さん本当にすばらしい考えを持っておられると感心いたしました。

今回のワークショップに於いて、我々の愛する米子を他の地域に発信するためにはまず我々が米子の事を知る必要がある。つまり、一人一人が米子の「語り部(マニア)」になるというまとめに至ったわけですが、これは観光面、商業面に於いても大切な考え方だと思われれます。経済団体である青年中央会メンバーとして、これからもこのような機会があれば積極的に参加していきたい、そんな風に思える非常に有意義な時間でありました。(記事:須山)





政治行政委員会では、「米子・境港 都市計画区域 線引きの見直し」について委員会内で一年間検証してきた。その中でいろいろな疑問点や実際に線引きしてどうだったのかを、近県で線引きを廃止している香川県に聞いてみよう！と香川県土木部都市計画課に行き話を伺ってきた。

冒頭課長補佐の安西様より、「県の公式見解を聞きたいのか？であれば、当たり障りのない話しかできないが」と言われたが、「いえいえ担当者レベルの四方山話を是非お聞かせ下さい。」とお願いしいろいろ話を聞いた。

我々は、米子と香川が似ている点が多いこと。例えば面積が小さく、下水道整備が遅れている、また、大学の学部が点在していることなどが挙げられ、線引きの見直しがどのように市街地形成に関わったのか、参考になることも多いと考えていた。

しかし、いろいろ話を伺っていると、線引きの見直しで企業を誘致

すると経済の活性化が図れると思っていたが、それは線引きとは次元の違う話で線引きをしたから誘致できるものではない。さらに大学の誘致などは自治体がやれば線引きは関係ない。実際に、旧高松空港の跡地(元調整区域。現在は市街化区域)に「香川インテリジェントパーク」を整備し、研究開発や新規産業創出の拠点として、周辺環境づくりに努めている(写真参照)。



世の中は、コンパクトシティー化に向かっているのに、線引きの見直しが本当に米子で必要なのか？副作用は出ないのか？米子だからできるものはないのか？また、農地を保全するために線引きがあるのではない。など実際施行されている担当の方から、生の声を聞かせて頂き大変勉強になる視察だった。

最後に、安西課長補佐より「都市計画に満点はない。結果がわかるとすれば何十年も後になってからだ。」もっと言えば「民主主義に正解はない！」とのお言葉。蓋し名言かなと感じた。

PS. 今回の香川視察は別途事業費を申請せず、委員会費にて行いました。

5月度委員会報告

政治行政委員会

平成21年5月11日(月)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/10名
議題/・会員拡大の件
・香川県庁視察の件
・その他

環境問題委員会

平成21年5月13日(水)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/10名
議題/・「森と水の学校」の件
・「下敷き作成」の件

Neo・ラヴィ委員会

平成21年5月7日(木)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/10名
議題/・会員拡大の件
・「車尾の豆茶作り」プラン作成の件

ビジネス委員会

平成21年5月8日(金)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/9名
議題/・会員拡大の件
・安来YEG交流会打合せの件

エリアデザイン委員会

平成21年5月12日(火)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/7名
議題/・航空祭出店の件
・今後の活動について

広報委員会

平成21年5月11日(月)於:米子コンベンションセンター会議室 出席者/15名
議題/・ハンサム編集の件
・6月担当例会の件

総務委員会

平成21年5月13日(水)於:焼肉うえば 出席者/16名
議題/・4月レクリエーション例会反省の件
・会員拡大の件
・総会・卒開式の件

編集後記

金魚の仕入れで、大和郡山に泊まる機会があった。お決まりのビジネスホテルに一泊することになり、シャワーを浴びながら頭を洗っている時にふと考え込んでしまったのである。

『リンス イン シャンプー』が備え付けてあったのだが、朝早く起きてシャンプーをしてから通勤、通学する「朝シャン」が若い女性に流行したのが1988年で20年前である。このためシャンプーが手軽に、短時間でできるような商品が開発された。シャンプーとリンスが一度で済むリンス イン シャンプーのほか、裸になって風呂場まで行かずとも、洗面台で髪を洗えるシャンプードレッサーまで登場した。

この商品が発売された当時のキャッチコピーを皆さんは覚えていらっしゃるだろうか？そう、『ちゃん リン シャン』である。『ちゃん リン シャン ちゃん リン シャン ちゃんと、リンスしてくれるシャンプーです。』つまり、『リンス イン シャンプー』は機能的にも商品のキャッチコピー的にもシャンプーなのである。一方で、『リンス イン シャンプー』を日本語に直訳すると『シャンプーの中のリンス』であり主役はリンスである。因みに英語では『リンス イン シャンプー』はtwo-in-one shampooであり、リンスは和製英語で正確に Hair conditionerであることを考えると『リンス イン シャンプー』は日本語であると聞き直れなくもないが、...

20年前、JAPAN AS NO.1と謳われバブル経済に沸いた我が国がおかれている現状は厳しい。我が身とて同じである。鯉が泳ぐ宝石と呼ばれていたのは遙か遠く、『リンス イン シャンプー』は日本語であると聞き直すのではなく、鯉屋の仕入れのほとんどが、金魚なのも世の中の流れである。解っていても寂しさを感じるが、家業存続のためには看板にこだわってはいけないう時もある。(記事:内田)

《コピーをして名簿にお貼りください》

新入会員

(総務)

佐藤 幹典 A型
三井生命保険株式会社 米子営業部 営業部長
生命保険業
〒683-0052 米子市博労町4-358-6
TEL 34-2518 FAX 23-0484
(KT) 090-6134-9382
(EM) Mikinori_Sato@mitsui-seimei.co.jp
S56.11.2生

《コメント》改めまして、皆様はじめまして。この度入会させて頂きました三井生命の佐藤と申します。直近2年間東部青年中央会に在籍しており、楽しみながら様々な事を学んで参りました。皆様のお役に立てるようがんばり、その中で自分を高める事が出来たなら、と思っております。若輩者ではありますが、全力を尽くします。よろしくご依頼致します。

6月役員会報告

6月定例役員会が平成21年6月1日(月)、米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・5月例会反省の件
- ・6月例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

6月例会案内

と き:平成21年6月18日(木) 19:00~21:30
と ころ:米子コンベンションセンター BIG SHIP 小ホール
内 容:34期委員会発表 35期年度方針発表 35期理事抱負
担 当:広報委員会